

Investor Express

株主・投資家の皆さまへ

小田急電鉄株式会社

平素より小田急グループに対する格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第101期上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の業績および当社グループにおける取り組みにつきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

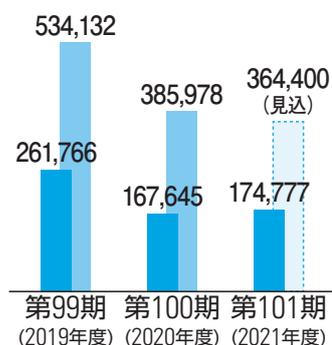
取締役社長 星野晃司



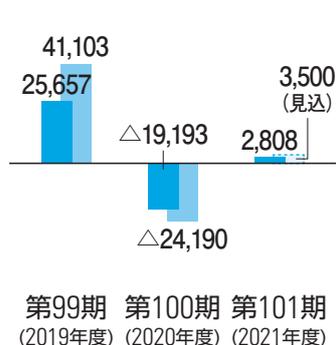
連結業績ハイライト (単位: 百万円)

■ 連結通期 ■ 連結第2四半期累計

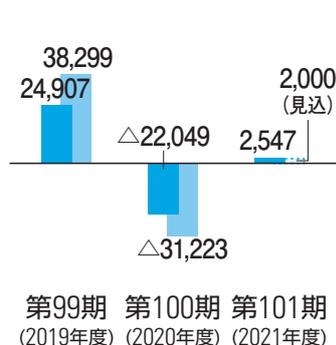
営業収益



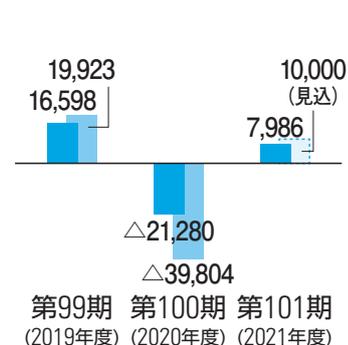
営業利益(△は損失)



経常利益(△は損失)



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益(△は損失)



当期の配当について

第101期(2021年度)の中間配当につきましては、公表しておりました予想のとおり、見送りとさせていただくことを10月29日開催の取締役会にて決議いたしました。また、期末配当につきましては、株主の皆さまへ安定的な利益配当を行う観点から、前期実績と同額の1株につき10円とさせていただくことを予定しております。

株主の皆さまには、心からお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2050年に小田急グループのCO₂排出量実質「0」を目指した行動指針「小田急グループ カーボンニュートラル2050」を策定いたしました。本指針は、「環境ビジョン」「環境長期目標」「環境戦略」の3つの柱で構成しており、事業活動を通じたCO₂排出量の削減や資源循環、自然資源の保全・活用等の環境課題に取り組む行動指針を示しております。

小田急グループ カーボンニュートラル2050

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境ビジョン

小田急グループは美しい地球環境と優しい社会を未来の世代に引き継ぐことを使命とし、事業活動を通じてCO₂排出削減や資源循環、自然資源の保全・活用などの環境課題に積極的に取り組みます。



小田急グループが目指す2050年の社会(イメージ)

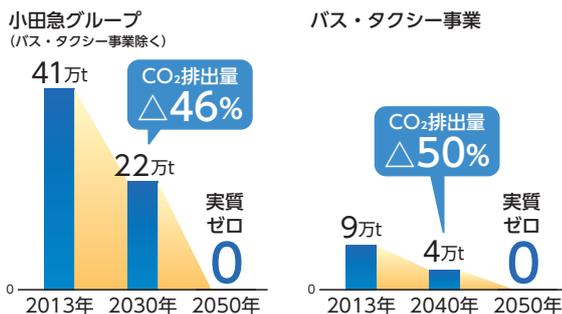
環境長期目標

小田急グループは2050年CO₂排出量実質「0」をめざします
その達成に向け2030年CO₂排出量△46%(2013年比)をめざします

※バス・タクシー事業は、EV、FCVの普及や充電スタンド、水素ステーションの整備と連動するため2040年△50% (2013年比)をめざします

上記の環境長期目標達成に向けて、当社グループ事業のうち使用エネルギー量の多い当社鉄道事業では、通勤車両の更新等の省エネ施策を進めるとともに、エネルギーの調達段階において再生可能エネルギーの比率を高めるほか、太陽光等で創発した電力の活用も行っております。

CO₂排出量削減目標



環境戦略

新たな環境戦略では、気候変動問題をリスク・成長戦略の機会の両面で捉え、UPDATE1~3を策定し、取り組んでまいります。

UPDATE ① 脱炭素社会の実現



ロマンスカー50000形・VSE

ゼロカーボンロマンスカーの運行

2021年10月1日~2022年2月28日の間運行されるロマンスカー50000形・VSEは実質的にCO₂排出量ゼロで運行されます(東京電力FIT非化石証書付電力を使用)。

UPDATE ② 資源循環社会の実現



リサイクルステーション・新宿駅

ペットボトルリサイクル

お客さまにキャップやラベルの分別回収を協力いただくことで、使用済みペットボトルを新たな飲料用ペットボトルにリサイクル。資源の循環サイクルを強化し、限りある地球資源の有効活用を目指します。

UPDATE ③ 自然保全と活用



「箱根の森から」と箱根旧街道杉並木

「箱根の森から」による寄付

ナチュラルミネラルウォーター「箱根の森から」の売り上げの一部は「箱根町資源保全基金」に寄付され、箱根旧街道杉並木の保護対策、仙石原すすき草原保存事業等の箱根の自然環境保全に貢献しています。

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同について



当社は、事業活動により発生する温室効果ガスの排出抑制、地球温暖化による気候変動への対応が持続可能な社会の実現に向けた重要な経営課題であると認識しており、金融安定理事会(FSB)によって設立されたTCFDの提言への賛同を表明いたしました。今後、TCFDの提言に基づき、気候関連財務情報の開示を進めてまいります。

※TCFDは、気候関連の情報開示について検討するため、2015年に主要国・地域の中央銀行、金融監督当局、財務省等が参加する金融安定理事会によって設立されたタスクフォースです。その最終報告書では、金融市場の安定化を図るため、企業等に対し、気候変動が事業に与えるリスクおよび機会の把握と開示等を推奨しています。

セグメント別の概況

運輸業



当社鉄道事業において、緊急事態宣言による外出自粛等の影響を受けたものの、輸送人員は定期が+5.3%、定期外が+29.2%と、それぞれ前年同期を上回ったことなどから、増収・増益となりました。

営業収益

62,749百万円

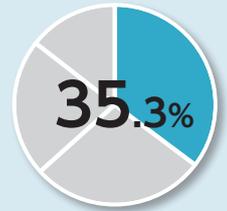
(前年同期比 17.3%増)

営業利益または営業損失(△)

△2,945百万円

(前年同期 △15,361百万円)

売上高構成比



流通業



百貨店業において、昨年4月に発出された緊急事態宣言に伴う臨時休業の反動や、ストア・小売業において駅構内コンビニエンスストアの利用者数の回復がみられたものの、会計方針変更の影響により減収となりました。一方、営業利益は会計方針変更による影響を受けていないため、増益となりました。

営業収益

49,747百万円

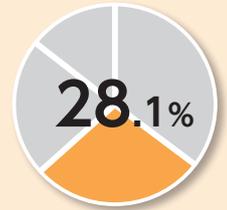
(前年同期比 29.6%減)

営業利益または営業損失(△)

108百万円

(前年同期 △1,619百万円)

売上高構成比



不動産業



不動産分譲業において、土地やマンションの販売が好調であったことに加え、不動産賃貸業において、昨年4月に発出された緊急事態宣言下での一部商業施設の臨時休業に伴う賃料減免の反動等により増収・増益となりました。

営業収益

42,346百万円

(前年同期比 54.8%増)

営業利益または営業損失(△)

11,364百万円

(前年同期比 84.8%増)

売上高構成比



その他の事業



緊急事態宣言による外出自粛等の影響を受けたものの、ホテル業において、シティホテルの稼働が前年同期に比べ回復傾向にあったことや、レストラン飲食業において利用者数が回復したことなどにより増収・増益となりました。

営業収益

33,161百万円

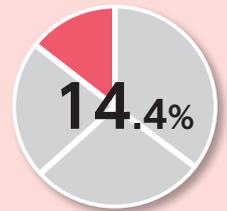
(前年同期比 11.7%増)

営業利益または営業損失(△)

△5,741百万円

(前年同期 △8,386百万円)

売上高構成比



9月1日 ウェイストマネジメント事業「WOOMS (ウームス)」を始動

当社は、「ごみ」のない世界へ。Beyond Waste」を事業ビジョンとするウェイストマネジメント事業「WOOMS」を始動いたしました。本事業では、テクノロジーを活用して廃棄物収集業務の効率化を支援する「収集・排出サポート」と、効率化による余力を活用して資源循環を高める「資源循環サポート」を、自治体や事業者へ順次提供してまいります。

詳しくはWebで!

Beyond Waste WOOMS



9月21日 MaaSアプリ「EMot (エモット)」での特急券販売および10月1日「EMotオンラインチケット」サービスを開始

当社は、MaaSアプリ「EMot」での特急券販売を開始したほか、デジタルチケット購入サイト「EMotオンラインチケット」サービスを開始いたしました。同サービスでは、「EMot」にて販売中の「デジタル箱根フリーパス」のほか、箱根の観光シーンにあわせてご利用いただける便利な10種類のデジタルチケットを新たに造成し、順次発売いたします。

EMotの詳細はWebで!



8月18日 スーパーマーケットOdakyu OX全店にて「セブンプレミアム」の販売を開始

小田急商事(株)は、Odakyu OX全28店ならびにOdakyu OX MART新百合ヶ丘店にて、(株)セブン&アイ・ホールディングスのプライベートブランド「セブンプレミアム」の販売を開始いたしました。「セブンプレミアム」の導入によって、品揃えと商品力の強化を図り、より一層地域のお客さまに満足していただける店づくりを推進してまいります。



10月1日 武蔵野市桜堤に複合施設「hocco (ホッコ)」が完成

小田急バス(株)は、東京都武蔵野市内の「桜堤折返場」を開発し、「暮らしの「町あい所」」をコンセプトとする新たな複合施設「hocco」を開業いたしました。「hocco」は、店舗兼住居を核に、シェアカーやシェアサイクルを有する地域コミュニティとモビリティの拠点としてバス沿線地域の活性化を目指すものです。

詳しくはWebで!



会社概要

設立 1948年6月1日
 (前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立)
 本社事務所 東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
 資本金 603億5千9百万円
 発行済株式の総数 368,497,717株
 株主数 51,289名
 事業内容 鉄道事業、不動産業、その他事業
 従業員数 3,797名

役員

| | | | |
|----------------|--------|-------|---------|
| 代表取締役社長 | 星野 晃 司 | 常勤監査役 | 山本 俊 郎 |
| 取締役執行役員代表取締役専任 | 荒川 勇 | 常勤監査役 | 宇佐美 淳 |
| 常取執行役員 | 五十嵐 秀 | 監査役 | 伊東 正 孝 |
| 常取執行役員 | 端山 貴 史 | 監査役 | 林 武 史 |
| 常取執行役員 | 長野 真 司 | | |
| 常取執行役員 | 黒田 聡 | 執行役員 | 細谷 和 一郎 |
| 取締役 | 野間口 有 | 執行役員 | 久富 雅 史 |
| 取締役 | 中山 弘 子 | 執行役員 | 深海 尚 |
| 取締役 | 大原 透 | 執行役員 | 沓澤 孝 一 |
| 取締役 | 糸長 丈 秀 | 執行役員 | 水吉 英 雄 |
| 取締役 | 立山 昭 憲 | 執行役員 | 露木 香 織 |
| 取締役 | 鈴木 滋 | | |

株主メモ

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月下旬
 同総会議決権行使株主確定日 3月31日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話お問い合わせ先 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
 公告の方法 電子公告により行う。
 ホームページアドレス https://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html

株主優待制度のご案内

500株以上保有の株主さまに、半期に1回保有株式数に応じた優待乗車証のほか、小田急グループ200以上の店舗・施設でご利用いただける優待割引券をお送りいたします。

優待乗車証と優待割引券はお手元に届いたときからご利用いただけます。

株主優待乗車証

| 保有株式数 | 乗車証の種類 | | |
|------------------------|-------------|------|---------------------|
| | 小田急線全線優待乗車証 | | 小田急線全線・小田急バス全線優待乗車証 |
| | きっぷ式* | 定期券式 | 定期券式 |
| 30,000株以上 (①～③より選択) | ① | 30枚 | — |
| | ② | 60枚 | 1枚 |
| | ③ | 140枚 | — |
| 15,000株以上 (①～②より選択) | ① | 30枚 | 1枚 |
| | ② | 110枚 | — |
| 10,000株以上 | | 80枚 | — |
| 5,000株以上 | | 40枚 | — |
| 3,500株以上 | | 30枚 | — |
| 2,500株以上 | | 20枚 | — |
| 1,500株以上 | | 10枚 | — |
| 500株以上 | | 4枚 | — |

+

| 3年以上継続保有追加枚数 |
|--------------------|
| 小田急線全線優待乗車証 |
| きっぷ式* |
| 5,000株以上保有 6枚追加 |
| 1,500株以上保有 3枚追加 |
| — |

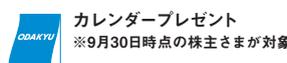
*きっぷ式は1枚1乗車有効

そのほかの各種ご優待例



*掲載している株主優待制度は一例です。株主優待制度の詳細に関しては、当社ホームページ「株主の皆さまへ」をご覧ください。
 ※一部割引除外となる場合がございます。また、優待の内容については変更する場合がございます。

15,000株以上の株主さまの特典



株主優待制度の詳細はWebで!



今後の日程

- 2022年 3月 31日：基準日(権利付最終日29日)
- 2022年 5月下旬：株主優待ご送付
- 2022年 6月 下旬：定時株主総会開催 ※掲載の内容は2021年11月時点での予定です。

小田急電鉄株式会社

〒160-8309 東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
 総務部 電話03(3349)2054 ホームページアドレス https://www.odakyu.jp/



本冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。